

授業概要

子どもの表現に関わる資質・能力をバランスよく育成させるためには、造形遊びや工作の活動、絵や立体の中で、子どもが納得するまでつくらせていく。特に再構成（つくり、つくりかえ、つくる）を満足のいくまで持たせる学習活動が必要であろう。このことは造形指導をする指導者にも、幅広い経験と深い学びが必要であると考え。本講義では造形活動の指導・実践に必要な材料・用具の取り扱いと、学習指導要領の「内容の取扱いと指導上の配慮事項」についての理解を深める。また、幼児・児童期における発達段階の作品に触れ、幅広い造形の基礎技能の習得を図ることをねらいとする。

授業計画

第1回	授業ガイダンス（子どもの遊びと造形表現、保幼小中の接続）
第2回	子どもの絵の発達段階と様々な表現（観察画・創造画：遠近法の活用）
第3回	子どもの絵の発達段階と様々な表現（生活画：水彩画）
第4回	題材研究1：ドリッピング（垂らし絵）とパチック（はじき絵）
第5回	題材研究2：スパッターリング：型を用いたグラデーションの基本
第6回	題材研究2：スパッターリング：型を用いたグラデーションの応用
第7回	題材研究3：紙工作 立体構成ーからくりBOX
第8回	題材研究4：空の彫刻ー風作りと歴史ー
第9回	題材研究4：空の彫刻ー風の揚げ方と安全指導ー
第10回	題材研究5：芯材を使った粘土制作① 紙粘土の特性と種類
第11回	題材研究5：芯材を使った粘土制作② 量塊と動勢
第12回	題材研究5：芯材を使った粘土制作③ 彩色による効果と仕上げ（ニス）
第13回	地域の美術館の活用について（鑑賞教育）、表現及び鑑賞の学習指導と評価について
第14回	グループワーク 紙工作：立体構成ー未来の街①（主題決め）
第15回	グループワーク 紙工作：立体構成ー未来の街②（並べる・つなぐなど）
第16回	まとめ（筆記試験又はレポート提出）

到達目標

- ・図画工作科の学習環境とその運営、施設・設備に関する環境の配慮について理解する。
- ・表現及び鑑賞の学習指導と評価について理解を深め、造形表現に関する知識や基礎技能の習得を図る。
- ・造形活動を通して、様々な材料用具の正しい扱い方と安全指導を身につける。

履修上の注意

- ・造形活動で用いられる様々な材料用具（工作用紙・クレヨン・絵の具等）は、各自が準備することになる。詳細は授業内で随時伝える。
- ・学外活動又は外部講師による講演聴講の場合も予定される。

予習・復習

学生自身が造形活動を楽しみ、豊かな感性を育てることが求められる。そのための準備・努力を惜しまないこと。主体的かつ授業外においても、造形活動に取り組むことを期待する。

評価方法

個人・共同製作における持ち物の準備（20%）。作品の期限内における提出の有無と内容（40%）。学習態度、協調性（40%）

テキスト

教科書名：『保育・教育のための実践事例で理解するわかりやすい「表現」』
 著者名：梅澤 実・森本昭宏
 出版社名：創成社
 ISBN：978-4-7944-8099-6

注：春期の保育教材研究授業の教科書も活用する